

理事会、評議員会・支部長会議、全国支部長顧問・

参与会議

令和元年7月6日、福岡市の福岡サンパレスホテル&ホールにおいて開催された。梅雨時でもあり、直前には南九州が大雨に見舞われるなど、延期を余儀なくされた昨年の例が思い出されて心配されたが、幸い当日は好天に恵まれた。

[第29回理事会]

14時開催。石川会長、相良名誉会長以下5人の副会長、2人の常務理事、4人の理事、2人の監事が出席して、平成30年度の事業報告、決算、2019年度事業計画、予算を審議し、評議員会にかけることが了承された。



[第11回評議員会・支部長会議]

理事会の審議を受けて15時から開催された。来賓として大崎美泉経済学部長にご出席いただき、全国から集まった参与、支部長が加わって、43名で開催。速杵・国東支部の吉良正英支部長が議長を勤め、事業報告、事業計画、予算既定の一部改正、三浦副会長が会長代行に就任する人事案件等が承認された。100周年記念事業計画についても承認。

会議では活発な議論、提案、報告等がなされた。運営資金からの繰り入れを抑制するためにも支部の基礎を固めること、すなわち若手・中堅の会員増を図ることが大切、東京四極会では他学部の卒業生にも呼び掛けて若手の会を開いたこと、北九州支部でも他学部の参加を得ていることなどの報告があった。支部総会の案内はSNSを活用するのが有効、四極会のホームページ活性化には支部の情報提供が大切等の議論もされた。



[第2回全国支部長顧問・参与会議]

評議員会・支部長会議とメンバーはそのままで16時30分から開催。議長は東京四極会の奥川隆生理事長が勤め、3年後に迫った100周年記念事業について議論された。

まず、100周年記念事業実行委員会の、野々下俊昭実行委員長から、募金活動を通じて年会費を納める会員の増加を図ろうと挨拶。

記念募金推進小委員会の玉井鉄之委員長は、現状の募金実績を踏まえて、募金額とともに募金者の数を広げる必要性を訴え、法人募金を含めた今後の募金計画について説明。12月末までに目標の50%、今年度末までに70%達成を目指す。

10余名の支部長から募金活動の方法、募金に掛ける意気込み、今後の方針等について意見が出された。

最後に宇都宮修二参与が、100周年に向けて頑張ろうと締めくくった。





一般財団法人 四極会 第11回 評議員会・支部長会議 於 福岡サンパレス ホテル&ホール 令和元年7月6日